

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 29 週分・7 月 14 日～7 月 20 日)

■今週の主な動向

○百日咳の患者が今週 30 例（2025 年累積 490 例）報告されました。

10～14 歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化しやすいことから、同居する家族からの感染には注意が必要です（[第 23 週インフォメーション参照](#)）。

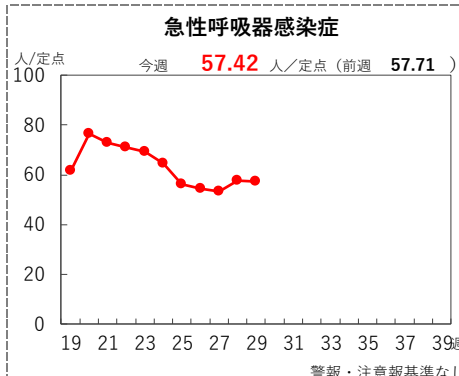
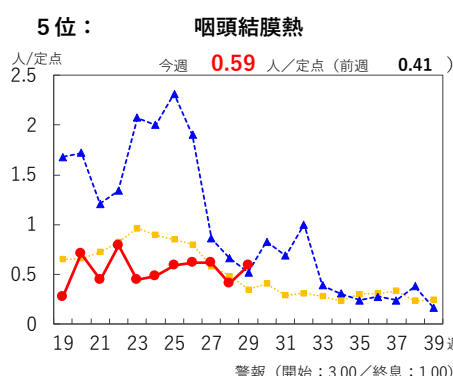
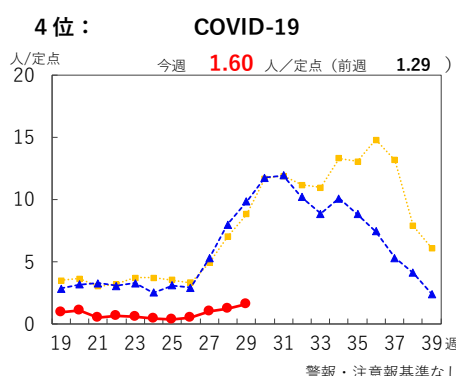
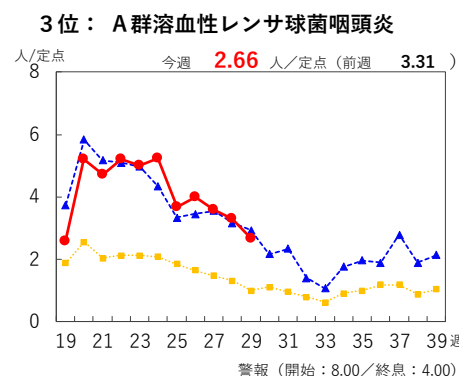
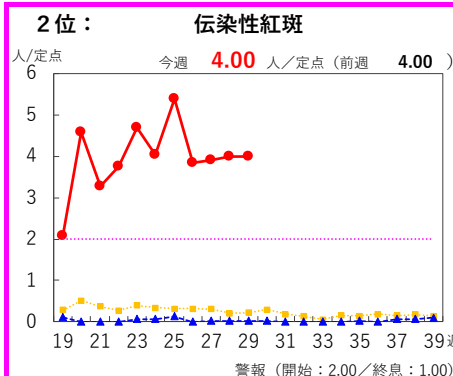
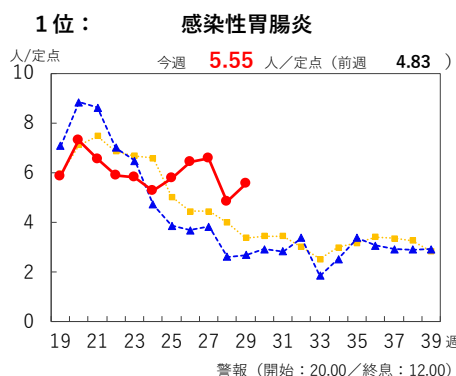
○伝染性紅斑の報告が多い状況が続いています。

伝染性紅斑の報告数が、第 15 週から警報開始基準値（2.0 人/定点）を超えた状況が続いています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので注意が必要です（[第 17 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 29 週・7/14～7/20）

警報



● 現在 ● 前年 ● 過去10年平均 ● 警報 ● 注意報 ● 流行

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 2 件（①10 歳未満、女性 ②20 歳代、男性）
 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件（10 歳代、女性、O111、VT1VT2）
 四類感染症 レジオネラ症 1 件（80 歳代、男性、ポンティアック熱型）
 五類感染症 アメーバ赤痢 1 件（60 歳代、男性、腸管アメーバ症）
 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（10 歳未満、女性）
 梅毒 3 件（①第 27 週診断分：50 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期
 ②③共に 20 歳代、女性 ②早期顕症梅毒Ⅰ期 ③無症候）
 百日咳 3 1 件（①第 28 週診断分：40 歳代、男性 ②～④全て 10 歳未満、男性 ⑤～⑦全て 10 歳未満、女性
 ⑧～⑩全て 10 歳代、男性 ⑪～⑮全て 10 歳代、女性 ⑯30 歳代、男性 ⑰40 歳代、女性
 ⑱⑲共に 50 歳代、男性 ⑳60 歳代、男性 ㉑70 歳代、女性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通） HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



海外旅行を楽しむために 出発前の感染症対策を

《 インフォメーション 》

●海外で注意すべき感染症

この夏、長期休暇を利用して海外に行かれる方も多いと思います。楽しい思い出にするためにも、海外で感染症にかからないよう気をつけることが重要です。出発前に感染症の予防方法を今一度ご確認ください。

注意すべき感染症は渡航先によって異なります。最も罹患する可能性が高いのは、食べ物や水を介した消化器系の感染症（旅行者下痢症、A型肝炎、E型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど）です。発展途上国など公衆衛生の整備が不十分な地域へ行く際は注意が必要です。十分に加熱処理がされていないもの（生水、氷、カットフルーツ、サラダ、生鮮魚介類など）の摂取は避けましょう。

海外では、麻しん、風しんおよびポリオが流行している地域があります。現在、南アジア、東南アジア地域での麻しんの症例報告数が多くなっています。流行地域で麻しんや風しんに罹患し、国内に持ち込まないために、渡航前にワクチン接種歴を母子手帳で確認し、2回接種していない場合や接種を受けたかどうか分からない場合は予防接種の検討が勧められます。

東南アジア、南米、アフリカなどの熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症（デング熱、マラリア、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、黄熱など）が流行しています。現在、これらの蚊媒介感染症は国内では流行していませんが、海外で感染し、

輸入感染症としての蚊媒介感染症の報告状況（全国）

診断年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年*
デング熱	461	45	8	98	175	231	78
マラリア	57	21	30	31	36	45	14
チクングニア熱	49	3	0	5	7	10	10
ジカウイルス感染症	3	1	0	0	2	4	0

* 第28週（7/7～7/13）現在

帰国後に発症する輸入感染症が報告されています（表参照）。新型コロナウイルス封じ込め対策に伴う移動制限等により 2020～2022 年にはこれらの蚊媒介感染症の報告数は減少しましたが、2023 年以降は対策の緩和とともに増加傾向にあります。流行地へ旅行する際は、長袖・長ズボンを着用し、虫除けスプレーや蚊取り線香、殺虫剤を積極的に利用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。なお、防蚊対策として有効性が証明されている忌避剤には、ディートとイカリジンがあります。

また、動物を介して人に重篤な症状を起こす、動物由来感染症（中東呼吸器症候群（MERS）、狂犬病、鳥インフルエンザなど）もあります。むやみに動物に触れるのはやめましょう。

帰国後に症状が出た際は、感染拡大防止のため、医療機関を受診する前にあらかじめ電話で症状と渡航歴を伝え、医療機関の指示に従って下さい。

[厚生労働省ホームページ「海外へ渡航される皆様へ」](#)



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第29週 2025年7月14日～2025年7月20日）

分類		疾患	今週報告分（第29週）					累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）							
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				2		2	5	1	10	11	32	59	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							4		7	6	19	36	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1		1	2			3	
	四類感染症	E型肝炎									3			3	
		A型肝炎									1	1		2	
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1		1	
		デング熱										1		1	
		レジオネラ症					1	1			1	2	1	8	12
	五類感染症	アเมอร์バ赤痢					1	1				1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1		2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		4	7	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6	
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	5		8	3	15	31	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒					2	2	2	1	3	1	20	27	
	百日咳	1	9	9	1	10	30	22	111	105	20	232	490		
	風しん											1		1	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	258	220	917	214	1,147	2,756	4,603	4,110	15,997	3,594	19,647	47,951		
		36.86	44.00	70.54	30.57	71.69	57.42								
	インフルエンザ				1		1	928	858	1,650	977	1,877	6,290		
					0.14		0.02								
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	COVID-19	20	5	15	18	19	77	890	355	974	682	856	3,757		
		2.86	1.00	1.15	2.57	1.19	1.60								
	R Sウイルス感染症	1	1		3	1	6	30	25	112	40	197	404		
		0.25	0.33		0.75	0.10	0.21								
	咽頭結膜熱	3	2	3		9	17	63	29	246	4	79	421		
		0.75	0.67	0.38		0.90	0.59								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	1	21	2	48	77	120	221	1,276	169	1,775	3,561		
		1.25	0.33	2.63	0.50	4.80	2.66								
	感染性胃腸炎	28	11	19	9	94	161	808	544	1,363	455	3,626	6,796		
		7.00	3.67	2.38	2.25	9.40	5.55								
	水痘	4	3	2	1	2	12	9	64	33	17	253	376		
		1.00	1.00	0.25	0.25	0.20	0.41								
	手足口病		2	3		7	12	2	7	29	6	28	72		
				0.67	0.38		0.70	0.41							
	伝染性紅斑	5	20	27	4	60	116	80	242	588	100	892	1,902		
		1.25	6.67	3.38	1.00	6.00	4.00								
	突発性発しん	2	3	1	8	14		3	16	83	21	81	204		
			0.67	0.38	0.25	0.80	0.48								
	ヘルパンギーナ		1	2		12	15	18	3	14	1	39	75		
			0.33	0.25		1.20	0.52								
流行性耳下腺炎		1				1	2	9	6	8	15	40			
			0.33				0.03								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99		
	流行性角結膜炎	1	1	2			4	2	2	23	1	2	30		
基幹定点（5定点）		1.00	1.00	1.00			0.57								
	細菌性髄膜炎										1		1		
											1		1		
	無菌性髄膜炎														
入院サーベイランス（5定点）	マイコプラズマ肺炎							17	8	22	20	6	73		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242		
	COVID-19による入院患者	2	1			1	4	79	74	53	115	197	518		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考： <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/> ）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。